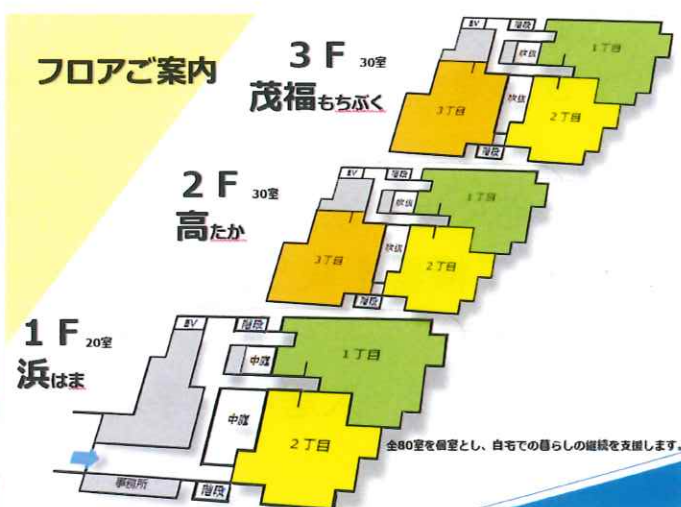


社会福祉法人富田浜福祉会

富田浜特別養護老人ホーム

浜風



2025.07.25

富田浜病院グループ紹介

- 所在地 三重県四日市市富田浜町
- 人口 約30万人
- 高齢化率(2020年) 四日市市 26.1% 全国平均 28.7%

特別養護老人ホーム (入居：80室)

富田浜病院 (145床、ケアミックス型病院)

介護老人保健施設 (入所：109床)

医療特化型サービス付き高齢者向け住宅 (入居：40室)

その他、人間ドック、通所事業所、訪問事業所等

施設概要 富田浜特別養護老人ホーム 浜風

2012年 開設

3階建てユニット型 個室80室

自宅に近い家庭的雰囲気を大切にした施設を目指しています。
ICT機器を取り入れた介護を進めています。

2024年度 入居者 平均要介護度 3.8

施設概要 富田浜特別養護老人ホーム 浜風

メディア・インターネット

2022年3月 コニカミノルタ HitomeQ 導入事例
シルバー産業新聞

2024年8月 Youよっかいち【防災】

2024年8月 Googleビジネスプロフィール 登録

2024年9月 福祉新聞【防災】

2025年5月 まるっと！みえNHK津放送局【防災】

2025年6月 まるっと！ NHK名古屋放送局【防災】

2025年6月 富田浜病院グループ Instagram 連投開始



シルバー産業新聞



【導入事例】



【Youよっかいち】



【Google】



【NHK】



【Instagram】

介護テクノロジー導入経緯

- 現システム導入数年前からベッドコールの破損が相次ぐ
 - 新たに導入した超音波センサーも通信不具合で通知が発信しない等のトラブルが相次ぐ
 - ベッドセンサーも誤発報が多く、信ぴょう性に欠いた
 - 配線も多く、ベッド移動、シーツ交換、リクライニング時の断線も多発していた
-
- 2019年度、これらを解消する手段として、展示会で出会った見守りシステム「Neos+Care」の導入を検討し始めた

介護テクノロジー導入経緯

介護ロボット 予測型見守りシステム「Neos+Care」

従来のセンサーとは異なり、カメラが反応した際も職員が訪室せずとも入居者の様子を把握できる。

カメラが居室固定ではなく必要な居室に設置できるのでイニシャルコストを抑えられる。

職員のケアの様子を把握できることでユニットケア＝職員の行動が把握し辛い環境下で、ケアの質向上や高齢者虐待防止にも繋げることができる。

介護テクノロジー導入経緯

HitomeQ（ひとめく）ケアサポート



- ✓ 最先端のAI搭載型行動分析センサーが、利用者様の行動を解析
- ✓ 必要な時だけ見えるプライバシー設計
- ✓ スマホ活用でスタッフ間連携が向上

【経営判断】全室に見守りカメラシステム導入しなければ！

それならば、同時にPHSもやめてオールインワンで！

上手く行っている施設を見学するのが一番！愛知県の施設へ見学

当法人が導入している主なテクノロジー

入浴



リフト付きシャワーチェア
(1台)

見守り



HitomeQケアサポート (80組)



a.a.m.s (10台)

通信



iPhone (22台、sim有)

清掃



除菌清掃ロボット
Witz i (1台)

介護記録



Blue Ocean Note

クラウド アプリ

(業務連絡) 【Microsoft Teams】
(設備予約管理) 【GroupSession】
(勤怠管理) 【X'sion】
(給与管理、年末調整) 【EdgeTracker】
(人事考課) 【kaonaviカオナビ】

テクノロジーの活用【見守り】

① 見守り支援機器

【HitomeQ ケアサポート】

【a a m s】



HitomeQ
Care Support



② アプリ

【Microsoft Teams】（業務連絡）

【GroupSession】（設備予約管理）

【X'sion】（勤怠管理）

【EdgeTracker】（給与管理、年末調整）

【kaonaviカオナビ】（人事考課）



Microsoft Teams

テクノロジーの活用【見守り】

① 見守り支援機器

【HitomeQ ケアサポート】



- 導入時期 2021年3月
- 全居室にセンサー完備（共有スペースなし）
- スマホ22台で対応
- 転倒映像は検知から1分前後のデータが保存される
- 伝言板機能

定着支援スケジュール 1ヶ月

座学研修・操作研修

テクノロジーの活用

① 見守り支援機器 【HitomeQ ケアサポート】

活用方法

- ・ 感覚からデータを見て動く業務へ
- ・ 必要最低限の訪室で済み、接触回数を減らす



映像の“ミカタ”で変わる、日々のケア

HitomeQ

? スマホで通知を受ける

! 映像で状況を把握する

💡 ケアに活かす!

行動分析センサーが
利用者様の行動を認識すると、
映像でお知らせ



ケアコール起点でも
映像通知が可能です



映像が見れるのは、
通知があった時のみ



※特別に合成した画像です

🎬 エビデンス動画で、再発防止

- ・ 転倒転落を認識すると
前後1分間を自動録画。
- ・ 原因の分析やスタッフ様
へのケア教育にも活用。
- ・ ご家族、医師への説明に
活用。



利用者様の

- ・ 訪室の必要性/危険の有無
- ・ 行動の特徴
- ・ ADL状態の変化

様々な気づきは
スタッフ様の成長を促進

映像通知による状況把握

1 利用者の行動を認識



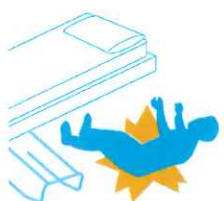
2 映像通知で状況を把握



ライブ映像で利用者様の状況を安全と判断し、訪室せず遠隔から見守るといった訪室最適化により負担を軽減できます。また、利用者様の起床・離床動作を映像で確認することで、日常動作(ADL)の変化に気づくことができ、ケア方針の見直しを行うといった自立支援を促進できます。

転倒対策に活かすエビデンス動画

1 転倒事故が発生



2 通知を確認



3 映像記録で再発防止



行動分析センサーが転倒・転落を認識すると前後1分間を自動で録画。転倒・転落の発生状況が正確に把握でき、医師への説明、報告書作成やご家族様への連絡に活用することが出来ます。また転倒動画から原因を分析、再発防止策に役立てることが出来ます。

© KONICA MINOLTA

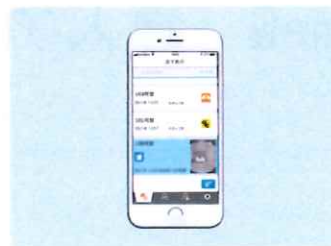
導入機器及び提供アプリケーション



行動分析センサー



ケアコールスイッチ



スマートフォン



居室一覧・設定・履歴の表示

ケアモニター



生活リズムの可視化

ケアルーペ



ケア通知・ケア記録

テクノロジーの活用

① 見守り支援機器 【HitomeQ ケアサポート】

居室内転倒件数が減少

2020年度【導入前】 60件
2021年度【導入時】 55件
2022年度【導入後】 43件



活用方法

- ・ 転倒時の適切な対策・計画でき再発防止
- ・ ゾーニングエリア内の職員にダイレクトに連絡

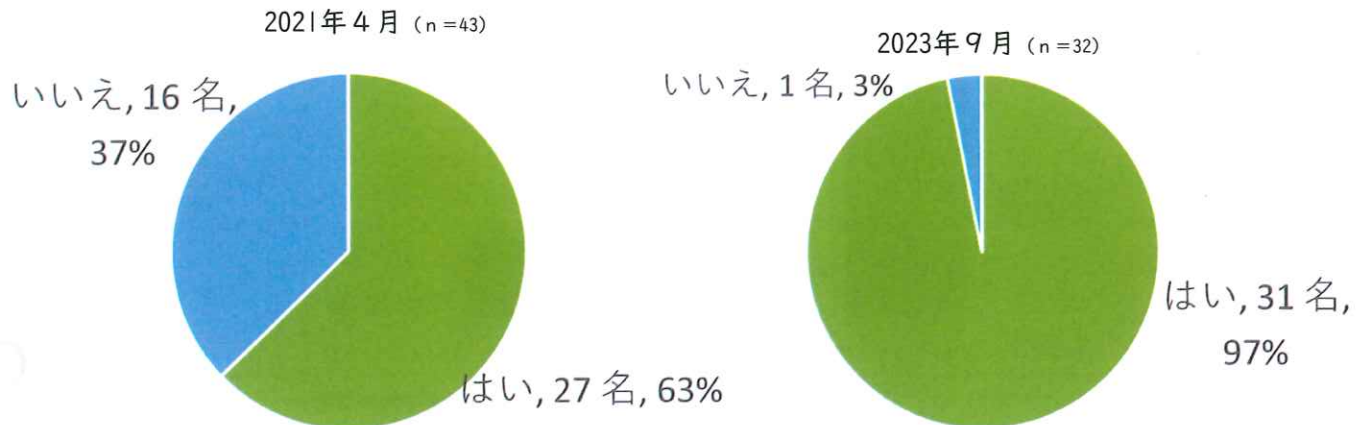
HitomeQ 導入アンケート

- ・ 導入直後 2021年4月 (n = 43)
- ・ 導入2年 2023年9月 (n = 32)
- ・ 対象者 夜勤を行っている介護職員
- ・ 全25項目のうち、一部を報告



HitomeQ アンケート結果

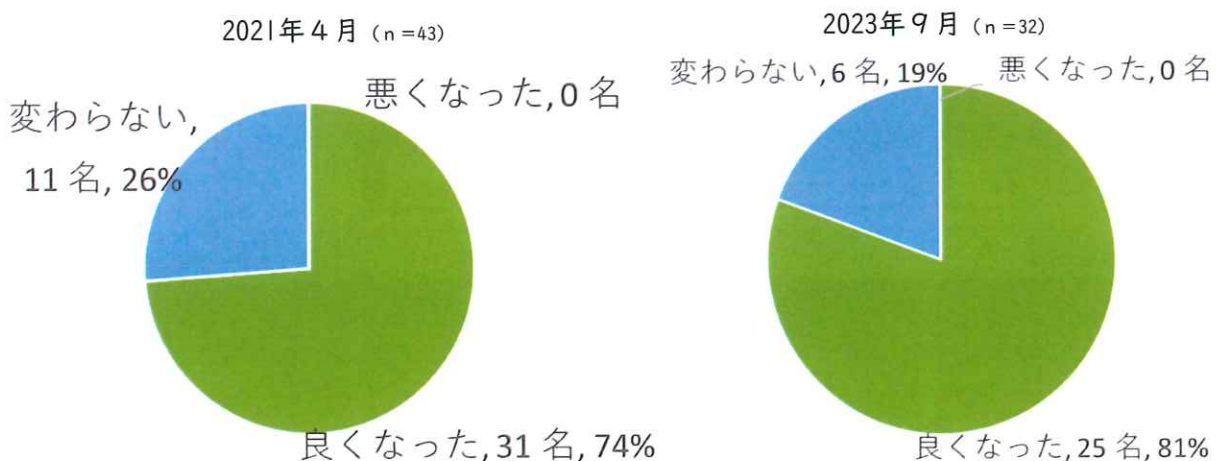
居室毎に訪室ルール（起床通知があったら素早く訪室、あるいは離床通知の際、LIVEを見て判断など）があることを知っていますか？



HitomeQ アンケート結果

HitomeQシステムを使い始めてから、介護業務の効率は変わりましたか？

➡無駄な訪室が減少しましたか？



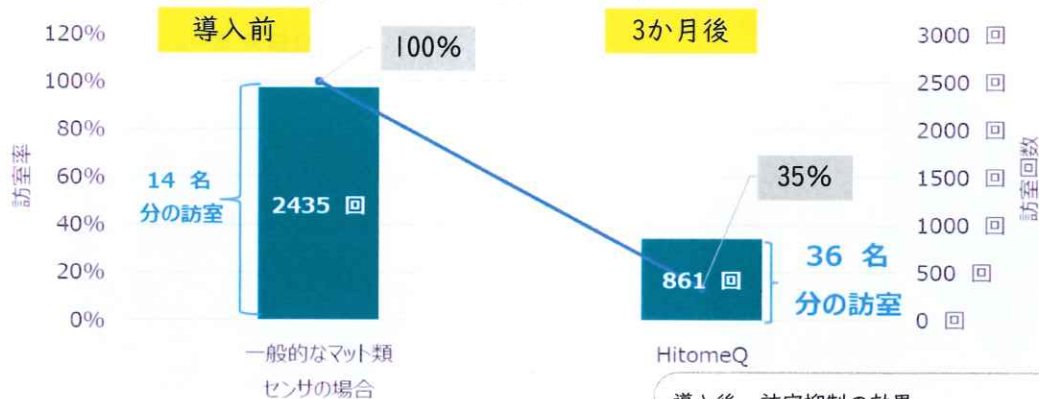
導入効果（起床/離床 訪室の効率化）

HitomeQ

見て駆け付けにより起床/離床対応での訪室率が
従来センサ導入に比べて **65% 抑制**

■ 起床/離床を起点とした訪室効率化

起床/離床センサー起点訪室回数（30日換算）



※従来のマットセンサーの通知数をHitomeQ起床/離床センサと同等数の発報として試算しています。
※訪室率はHitomeQはデータ分析より 2021/6/7-7/4 のデータを平均化し30日換算しています。
※従来のマットセンサー訪室率は100%として試算しています。
※ケアコールの回数は本グラフに含まれておりません。

導入後 訪室抑制の効果

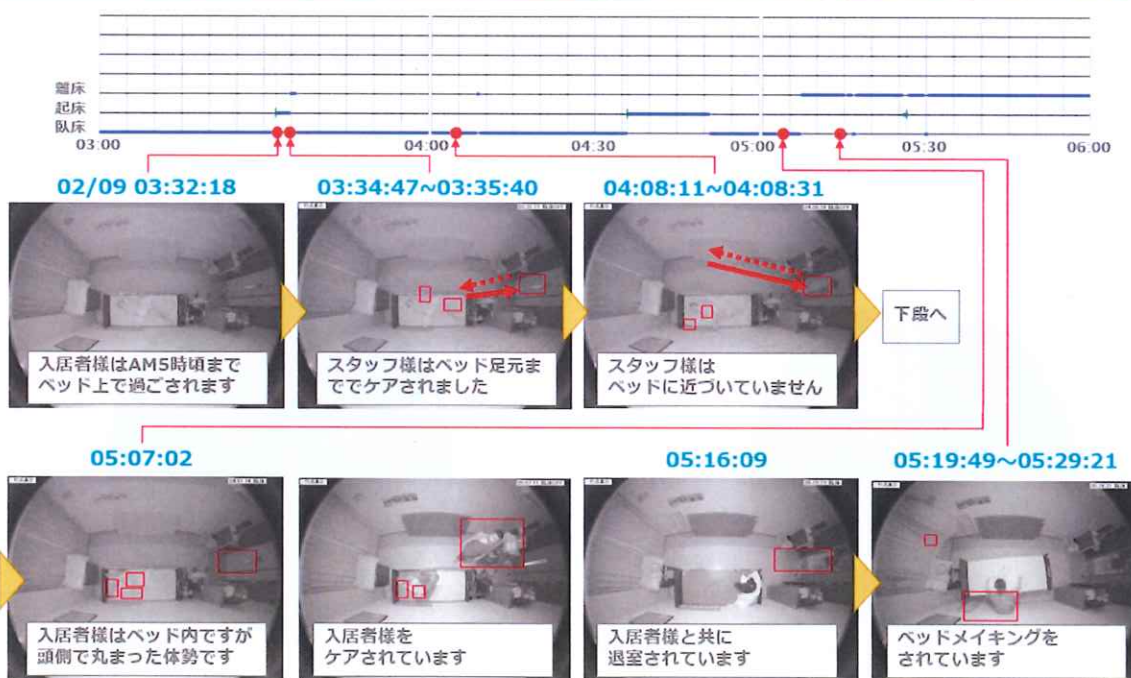
1,574 回/月

* 1回5分とすると131 時間/月の抑制

* 時給2,080円として約 27.3万円/月の抑制

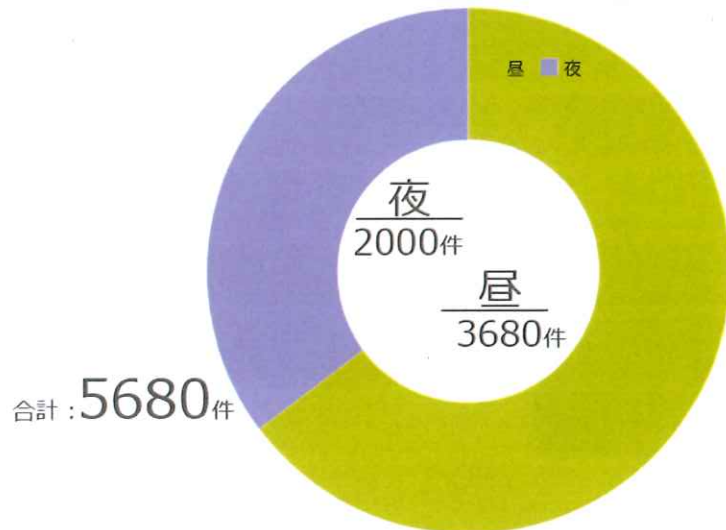
02/09 03:00~06:00

HitomeQ
Care Support

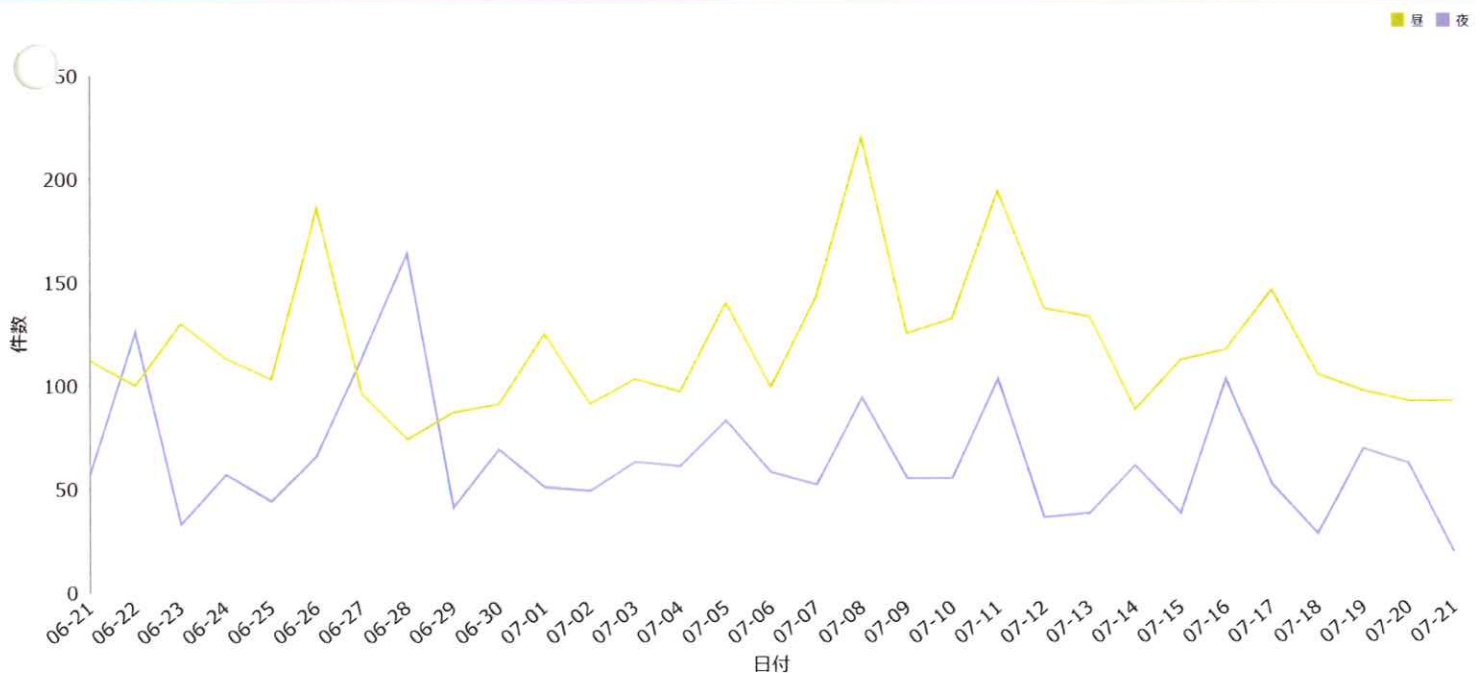


ケアルーペ

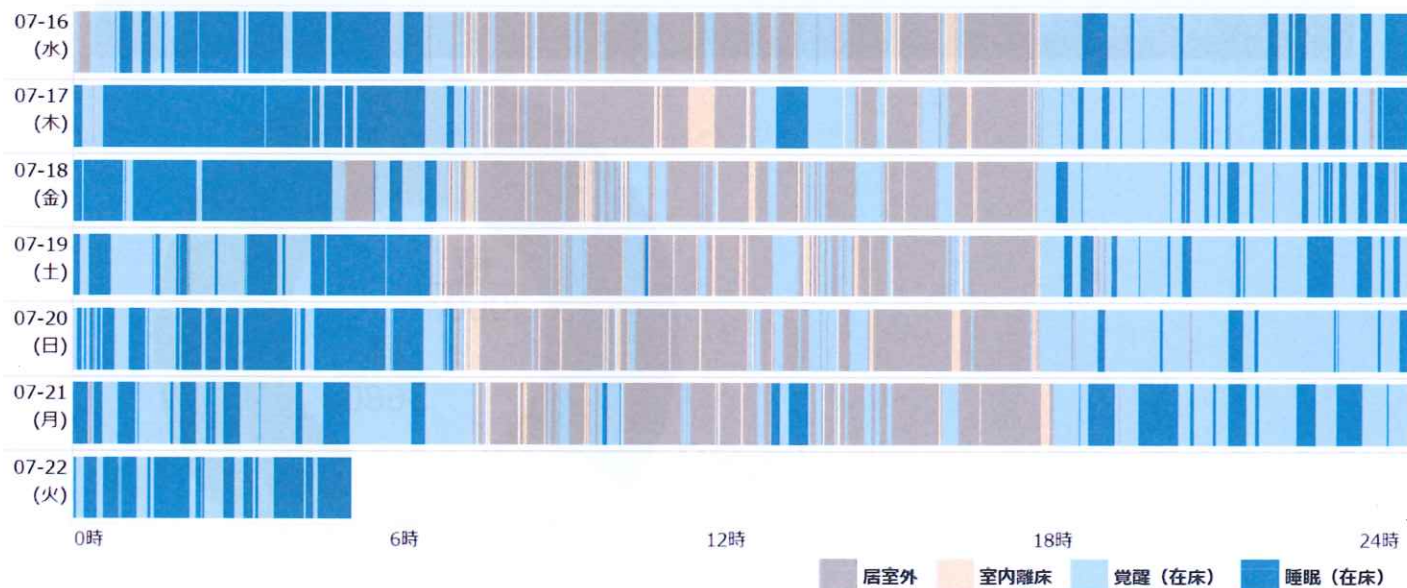
ケアコールの昼夜比較



一日ごとのケアコール件数



居室での過ごし方



① 見守り支援機器 【a a m s】

- 所有数 10台
- 導入時期 2023年3月
- 活用方法

心拍、呼吸状態などが設定値を超えた場合、
通知される

終末期において、心の準備がしやすくなる
訪室しなくても覚醒していることが把握できる
ため、訪室や体位変換などの調整ができる



hitomeQとaams

	見守りカメラ	ケアコール	センサー通知	保守
hitomeQ	○	○ 無線	○ 体動・離床	○ 187,000
a.a.m.s. 浜風仕様（本体のみ） 自己資金 395万円 +補助金 672万円	×	×	○ 心拍・呼吸・睡眠 体動・離着床	×
a.a.m.s. 老健仕様 オプションカメラ	○ オプション対応	○ 有線	○ 心拍・呼吸・睡眠 体動・離着床	×

効果

- 入居者の状態を見守りカメラで把握することができなかった部分の状態が表示されることで、よりの確な訪室や看取り期の負担の軽減が可能になります。

	ICT導入前	hitomeQ導入	hitomeQ+a.a.m.s導入
入居者	夜間の訪室により睡眠を妨げられた	巡視を減少 訪室による睡眠妨げ減少	巡視を計画実施できる 訪室による睡眠妨げが更に減少
職員	巡視が多い 看取りが不安 転倒転落原因がわからないことがある	労務負担 巡視・オムツ交換回数を減少 精神負担 看取りが不安 転倒転落を防げることがある 見えなかった原因が明確に	労務負担 変化なし 精神負担 看取りの心構え 家族に連絡するタイミング○
法人		夜勤5名から4名 ランニングコスト187,000円（224万円/年） 自己資金 1,276万円（2,732万円補助金）	自己資金 395万円（6,720万円補助金）

②クラウドアプリ

Microsoft Teams

情報共有

＜生産性向上推進委員会より＞

“介護生産性向上とは、介護職が限られた人数で専門性の高い介護サービスを提供する為に日頃の業務改善を行い、職員が介護業務に集中できる環境を作る事です。厚労省のガイドラインでは、人材育成、チームケアの質の向上、情報共有の公立かを活動の目的として掲げています”

生産性向上の1つの方法として、浜風でも各ICT機器が導入されていますが一度浜風職員の皆様にICT機器に関するアンケートのご協力をお願いしたいです。下記のURLもしくはQRコードから回答をお願いします。誠に勝手ながら、期日を6/7(土)までとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Qhz8h_cp5kyuq3Vt8-CISrskQalJ51Fnn5N4qxqUJtUOUxJWfk2MzISSzE2SVY2REw4NTdGNFwyQSOIQCN0PWcu

- ・導入時期 2022年7月
- ・対面せずにやり取りが可能
- ・情報共有を円滑
- ・一緒に働く仲間の事を知る機会

*その他のSNSは、用途に合わせて使っている

自己紹介

浜風にお世話になり4年目を迎えました。
生涯現役を目指し、今日までやって来られたのは親から譲り受けた健康のおかげだと思います😊
日々楽しく過ごそうと、心がけが大切です。
それには自分に合った楽しみを見つける事です。
私は、「静」と「動」の趣味を持っています。
それが日々の活力になっています。

③介護記録ソフト【BlueoceanNote II】

- ・導入時期 2022年4月
- ・入居者の基本情報の管理
- ・施設内のスケジュール管理
- ・申し送りや日誌の自動作成
- ・24シートを用いて記録への展開
- ・記録の統計・集計や分析により科学的介護の実践



④お掃除ロボット【Whiz i】

- ・導入時期 2022年10月
- ・委託業者の出入りの回数が減り、感染のリスクを減少させた。一方で、入居者に捕まる、物品に衝突する等、課題は残る。



今後への取り組み

- DX推進し業務の更なる効率化
- 各ICTの連携を模索し、より効果的な業務運営を
メーカーと職員へ働きかける
- 施設の課題を全職員が共通して認識し解決を目指す
- 適切なBCP作成と更新および訓練
- 通信障害発生時の対応が課題

介護テクノロジー導入費用見積もり

介護ロボット 予測型見守りシステム「Neos+Care」

カメラ8台、モバイル端末5台、サーバー1台に全館をWI-FI
「介護従事者確保事業補助金（介護ロボット挿入支援事業）」の対象
（補助額は全体の1/2で、上限額は750万円）

見守りシステム導入費用	3,960,000円
WI-FI設置工事	3,300,000円
合計	7,260,000円（税込）
（助成金の申請が受理により3,630,000円（半額））	

業者

機器

・KONICA MINOLTA	HitomeQ(ひとめく)
・bio silver(バイオシルバー)	aams(アアムス)
・Blue Ocean System	ブルーオーシャンノート(介護記録ソフト)
・アイリスオーヤマ	Whiz i(清掃ロボット)

クラウドアプリ

・Microsoft	Microsoft Teams(業務連絡)
・Xronos	X'sion(勤怠管理)
・日本トータルシステム株式会社	GroupSession(設備予約管理)
・株式会社ミロク情報サービス	Edge Tracker(給与管理、年末調整)
・株式会社カオナビ	kaonavi(人事考課)

